

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームで開催される行事などに地域住民の多くの参加が得られており、利用者は日頃から地域の顔見知りの住民と気軽に挨拶を交わしたり、切り花をもらうなどの関係づくりができています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。地域関係者、行政関係者などの出席も毎回得られ、議題で検討された意見などを日々のサービスに活かす取り組みがなされている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の高年福祉課職員や地域包括支援センター職員が運営推進会議に出席しており、市の担当者と定期的に情報交換をしている。また管理者は市が主催する講習会等に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会は開催していない。職員は家族の面会時には積極的に声をかけ、意見等を吸い上げるよう努めている。意見などは職員間で共有しサービスの改善、向上に活かしている。家族向けに「チアフル便り」を発行し、担当職員による利用者の細かな様子もつけて家族に報告している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設当初より地域密着型サービスとしての役割を意識した取り組みがなされており、ホームの行事が町内会の年間行事として組み込まれるなど、地域でのホームの位置づけは大きくなっている。職員はホームを「自分の家」であってほしいという気持ちで接し、希望されることはできるだけ実現できるように利用者の気持ちに寄り添うケアを心がけている。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。